

▶ S-KYT(消防団危険予知訓練)研修を実施して ◀

大阪府岸和田市消防本部

1. はじめに

岸和田市は大阪府の南部、和泉海岸平野のほぼ中心に位置し、北東は和泉市・忠岡町、南西は貝塚市、南は和歌山県に接し、北西は大阪湾に面しています。地域は、東西に7.6km、南北に17.3km、面積は72.72km²で、海から山にかけて南北方向に細長い市域形状になっており、地形は、北から臨海部・平野部・丘陵部・山地部のほぼ4つの地帯に区分され、臨海部は工業地域、平野部は住居と商業の混合地域、丘陵部は農業地域、山地部は森林地域として利用されています。

南北朝時代、当時この地は「岸」と呼ばれ、建武元年(1334)楠木正成の一族和田氏がこの地に城を築き根拠地としたことから「岸の和田氏」と呼び、これが「岸和田」の地名の起りになったといわれています。



2. 消防団の沿革

平成17年に現岸和田市消防団(大沢分団、葛城上分団)が発足。現在30名の団員が在籍しています。

平成21年度第53回大阪府下消防大会では小型動力ポンプ操法の部で第2位。平成30年度同大会では同じく小型動力ポンプの部で第3位となっています。

災害活動では平成29年に発生した台風第21

号で、被災地区の多くの住民を早期に避難誘導した功績が認められ、平成29年度防災功労者消防庁長官表彰、平成30年度防災功労者内閣総理大臣表彰を受章しています。

3. S-KYT(消防団危険予知訓練)研修開催の経緯

あらゆる角度から危険が迫り、異常心理に陥りやすい環境である災害現場での活動を想定し、平常時から『危険予知』のスキルを養っておくことの必要性和、決して公務災害を発生させはならないという団員の強い思いから研修を開催することとなりました。



4. S-KYT(消防団危険予知訓練)研修を実施して

令和2年2月2日(日)消防本部研修室で開催しました。

指導員の方々の説明を十分に理解しているつもりでも、実際に行うとなれば勝手が違い、災

害現場での危険に対する認識の甘さが見受けられましたが、研修を重ねていくうちに、『具体的に表現する。』という意味が理解、実践できてきていると感じました。

S-KYT 基礎4ラウンド法では参加者全員で危険要因を考え、ワイワイガヤガヤと意見を出し合い、非常に有意義な研修であったと思います。

『自信は声に表れる。』と聞いたことがありますが、研修当初の参加団員の声と終盤での声の大きさが全く違ったことが印象的でした。

研修終了後、参加団員から「災害に潜む危険を考えるきっかけとなった。」「危険予知をするということが行動の原点である。」という声があがっていました。

このことから大変有意義な研修であったと実感しています。



5. 今後の取組について

本研修で培ったスキルをさらに研ぎ澄ませていくために、S-KYT 訓練のようにみんなで参加するような多種多様な訓練・研修を企画していきたいと考えています。

崇高な使命感、郷土愛精神から入団された方々には本当に我々、消防吏員も教わるばかりです。消防本部・消防団ともにスクラムを組み公務災害ゼロを目標とし、岸和田市を守る『ワンチーム』としてこれからも災害に対峙していきたいと思ひます。

最後になりますが、『元気で 楽しく 達成感!』を実現していただいた、森方指導員、清水指導員並びに消防団員等公務災害補償等共済基金様に心より厚く御礼申し上げます。

